

政治学概論 |

(8) 民主主義の弱点

民主主義の不完全さ

■ 「『永久革命』とはまさに民主主義にふさわしい名辞である」丸山真男（日本の政治学者）

——およそ民主主義を完全に体現したような制度というものはかつても将来もないであって、ひとはたかだかヨリ多い、あるいはヨリ少ない民主主義を語りうるにすぎない

■ 「民主主義とは、最悪の政治形態らしい。これまで試されたすべての政治形態を別にすれば」

W・チャーチル（イギリス首相）

多数決と少数意見

民主主義とは多数決△ 民主主義とは話し合い○

※異なる意見による議論が民主主義といえる

× 多数決は正しい ○ 多数決は結果の正しさを保証しない

※正しくない場合は是正できるのが民主主義△

少数意見を尊重すべき ⇔ 物事が決められない

※民主主義は決定に時間要することが多い

「51対49で決定」は民主的か？

政治的無関心の拡大

▼代議制民主主義→政党政治→政治のプロ化

「代表」機能のつながりの希薄化→政治的無関心

※「自分が政治に参加している」実感が持てない

▼政治のショーア化 主権者（参加者＝責任者）でなく観客

投票率の低下→「どうせ何も変わらない」

▼「自由で平等な個人」による民主主義

→自分のことしか関心を持たない「自由」と孤立

民主主義を維持・発展させるには

- ▼ 「取り扱い注意」なのが民主主義
国民の関心低下、報道・言論の制限、政治家への不信
- ▼ 選挙以外でも身近に民主主義の習熟の機会が必要
主権者としての学習 他者と協力して社会を改善する訓練

代議制「選挙」と住民投票の併用、地方自治の活性化
無関心は腐敗に、抑制を欠いた対立は分断につながる